

# 平成29年度 第1回学校保健委員会



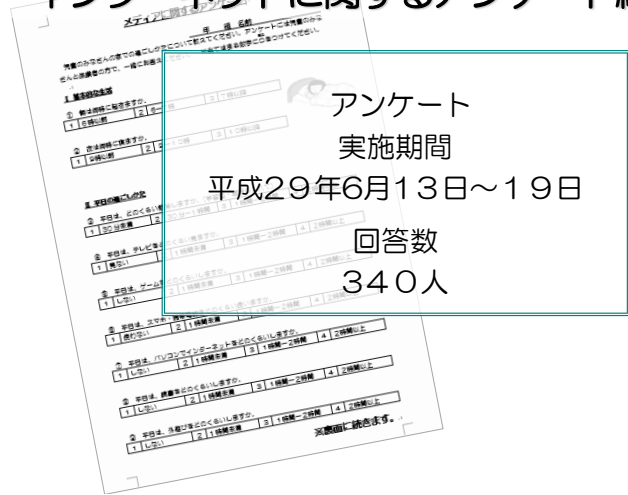
平成29年7月6日(木) 13:30~14:30  
倉敷市立船穂小学校 図書館

今年度の保健のテーマ

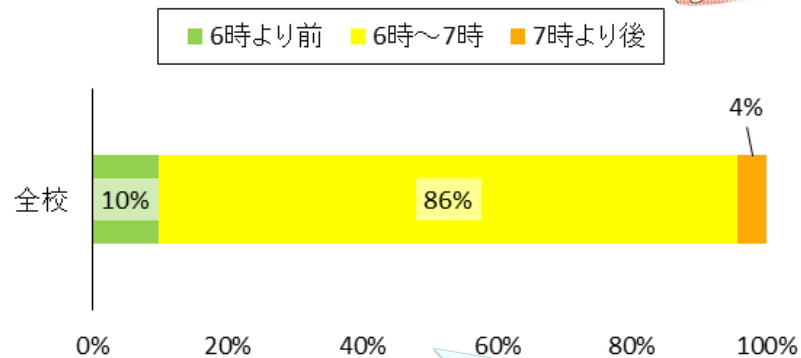
情報化社会の中で  
子どものくらしと健康を守る



# 児童のメディア機器利用とインターネットに関するアンケート結果から



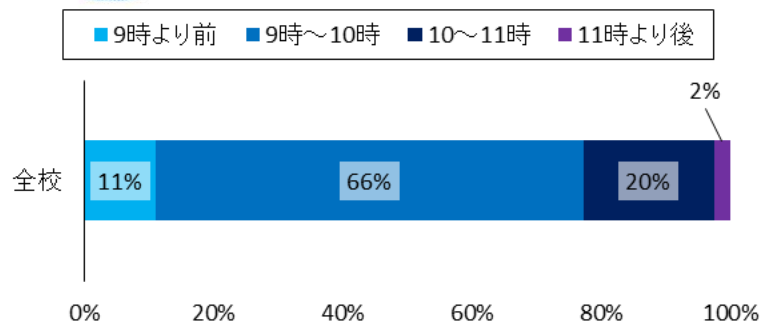
## 朝は何時に起きますか。



ほとんどの児童が6～7時に起床している。

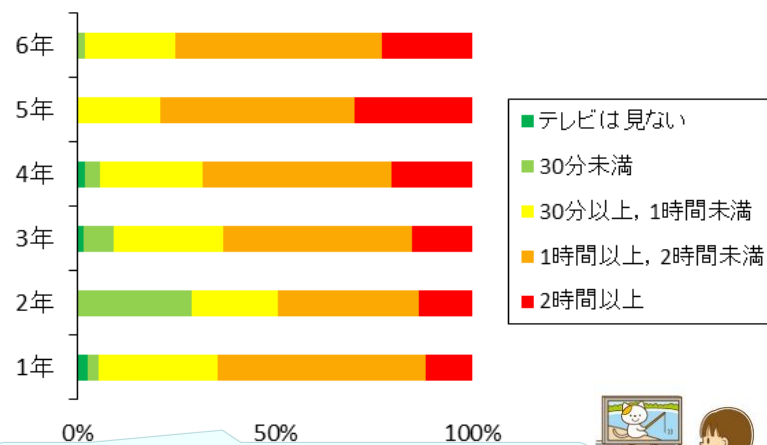


### 夜は何時に寝ますか。



低学年は9～10時に就寝できている児童が多い。  
高学年も大半が10～11時までに就寝できている。

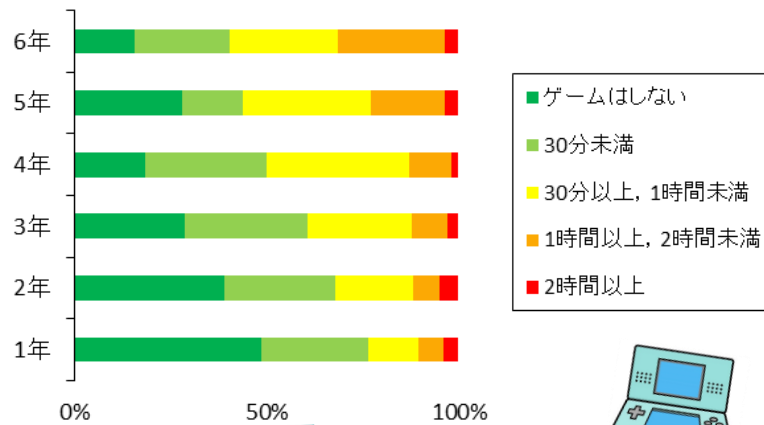
### 普段(月～金)テレビをどのくらい見ますか。



ほとんどの児童が2時間未満。  
高学年になると時間が長くなる傾向。

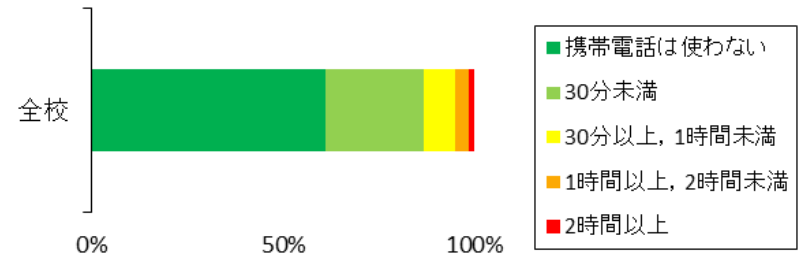


普段(月～金)ゲームをどのくらいしますか。



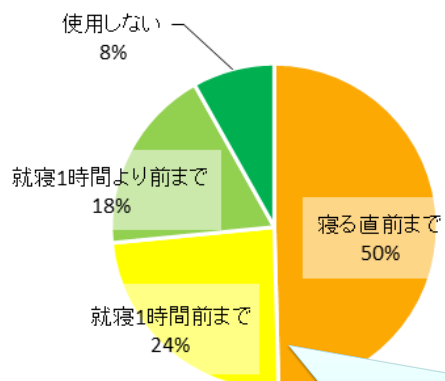
平日はゲームをしない児童が多い。  
高学年に上がるにつれて、時間が長くなる。

普段(月～金)携帯電話(スマートフォン含む)をどのくらい使いますか。



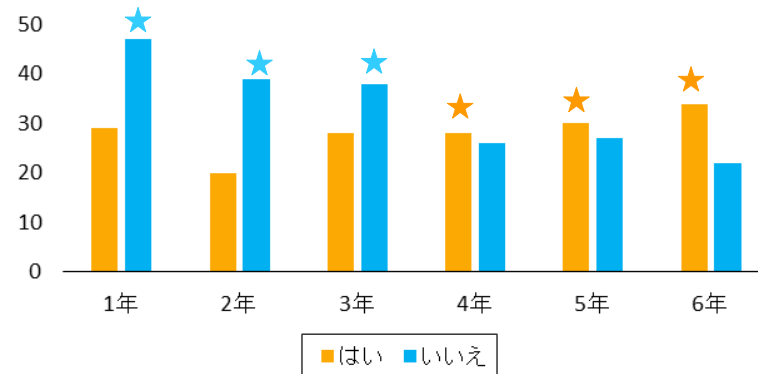
平日は「使わない」「30分未満」  
の児童が半数以上。

**就寝する何時間前まで  
メディア機器を使用していますか。**



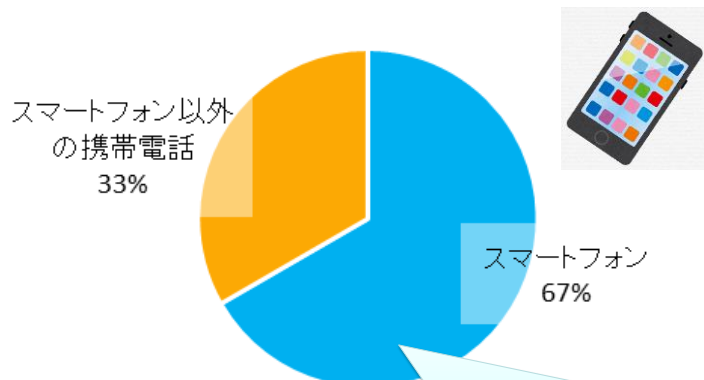
寝る直前までメディア機器を利用している児童が半数。睡眠の質への影響も考えられる。

**お子さんは普段から携帯電話を使用しますか。**



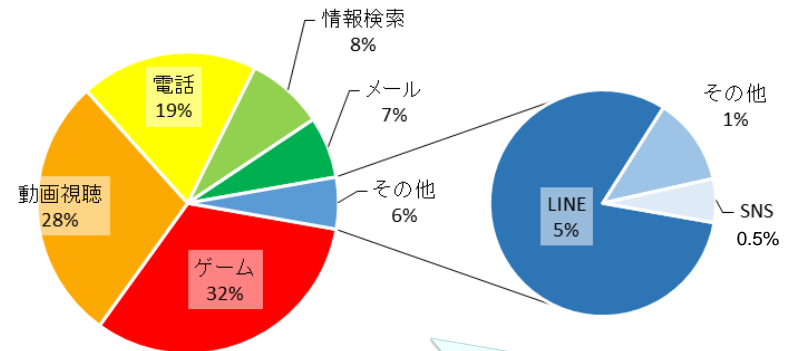
学年が上がるにつれて、携帯電話を使用する児童が多くなっている。

### 使用する携帯電話の種類は何ですか。



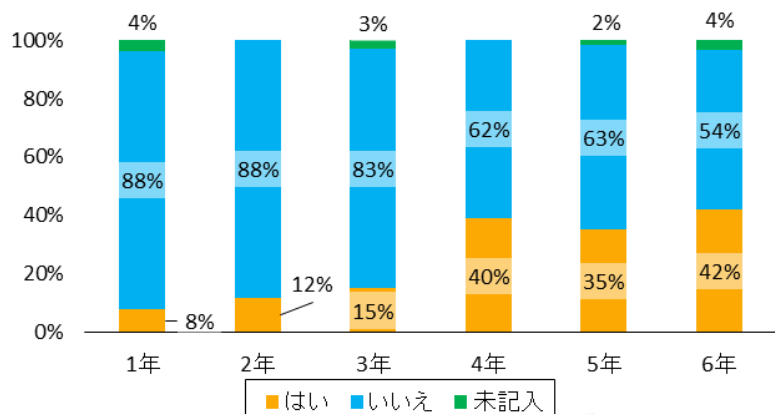
半数以上がスマートフォンを使用。  
ブルーライトの影響も考えられる。

### どのような用途で使用していますか。(複数回答可)



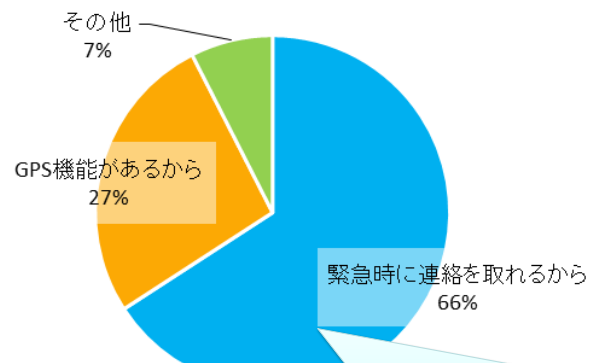
「ゲーム」「動画視聴」が半数以上。  
高学年は「情報検索」に使っている児童も多い。

### お子さんに自分用の携帯電話を持たせていますか。



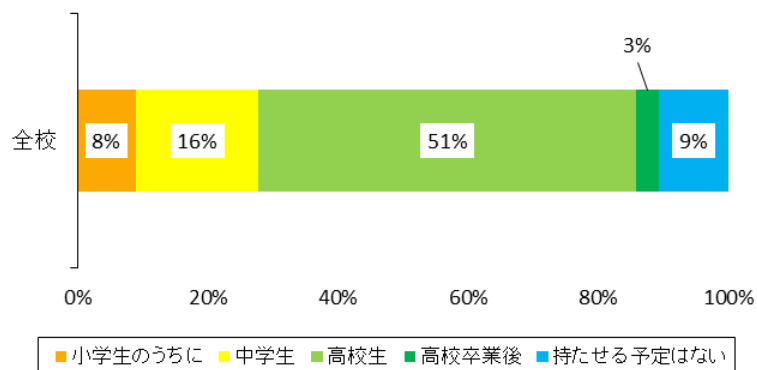
持っていない児童が大半だが、  
高学年の方が所持率が高い。

### どのような理由で持たせるようになりましたか。



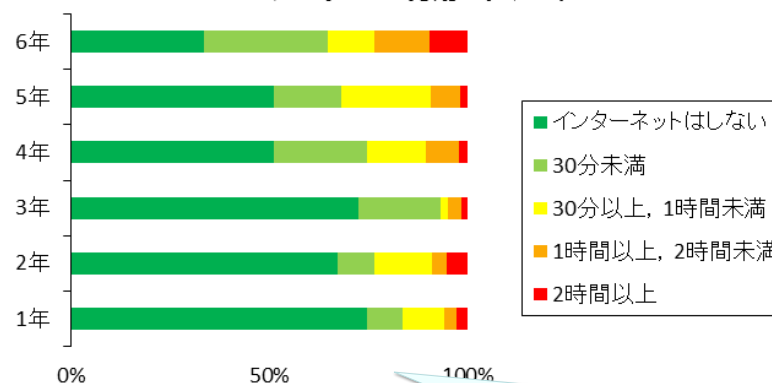
連絡をとる手段としての利便性や、持たせる  
ことで防犯になるという利点がある。

いつ頃からお子さんに  
携帯電話を持たせる予定ですか。



高校生までに持たせる予定の家庭が多い。  
今のうちからメディア機器・インターネットの  
正しい知識を身につける必要がある。

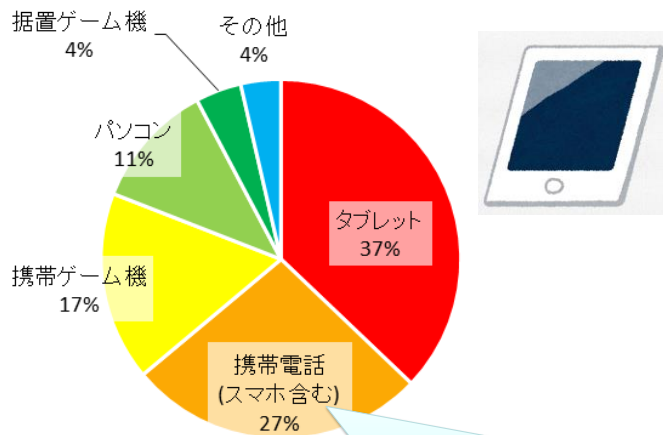
お子さんは1日当たりどのくらい  
インターネットを利用しますか。



ほとんどが30分未満。高学年の方が使用時間が多い  
傾向にあり、中には2時間以上使用する児童も。

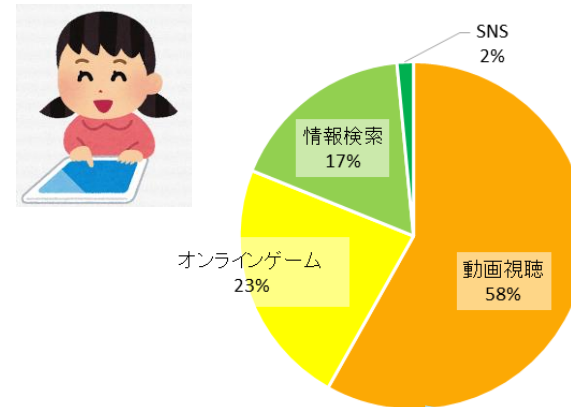


### どんな機器でインターネットを利用しますか。



「タブレット」「携帯電話」が多い。  
気軽にインターネットに触れられる環境。

### インターネットでどんなことをしますか。



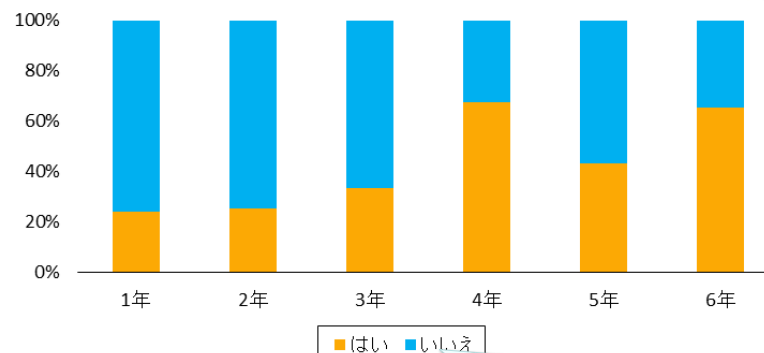
YouTube等での動画視聴が多い。次いでオンラインゲーム。高学年では情報検索やSNSも。

保護者の皆さまは、次のことについて  
どんなことをご存じですか。(複数回答可)



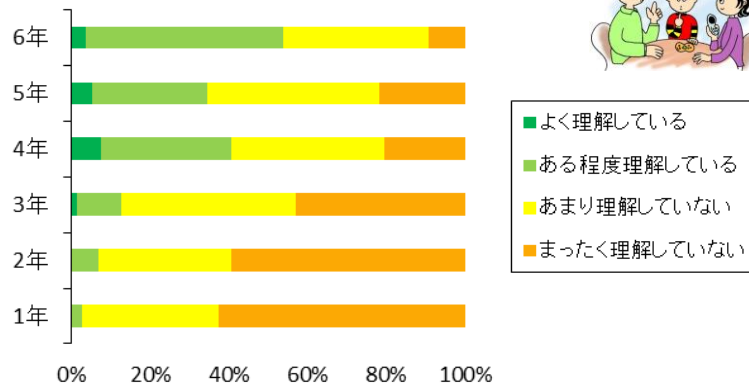
	知っている
①未成年の出会い系サイトへの書き込み、著作権・肖像権侵害などの違法行為	67%
②非道徳的・成人向け情報などの有害情報に関する問題	57%
③SNSなどを介した犯罪被害に関する問題(誘拐・恐喝・性犯罪など)	69%
④インターネット上のコミュニケーションに関する問題(誹謗中傷・ネットいじめ)	81%
⑤個人情報やパスワードなどのプライバシー保護に関する問題	60%
⑥ネット詐欺(ネットショッピングでのトラブル・ワンクリック詐欺など)	75%
⑦ウイルス対策などのセキュリティの問題	65%
⑧クレジットカード使用や課金に関する問題(高額請求など)	69%
⑨過度な使用による日常生活への支障(生活習慣・健康面)	69%
⑩その他	2%

問題について  
お子さんと話し合ったことがありますか。



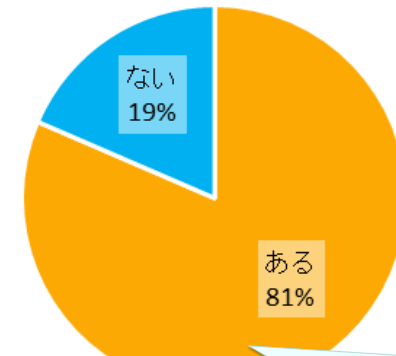
高学年は話し合ったことがある家庭が多い。  
インターネットの使用が増えるにしたがって、家庭  
でも話し合う機会を持つことができている。

問題を理解していると思いますか。



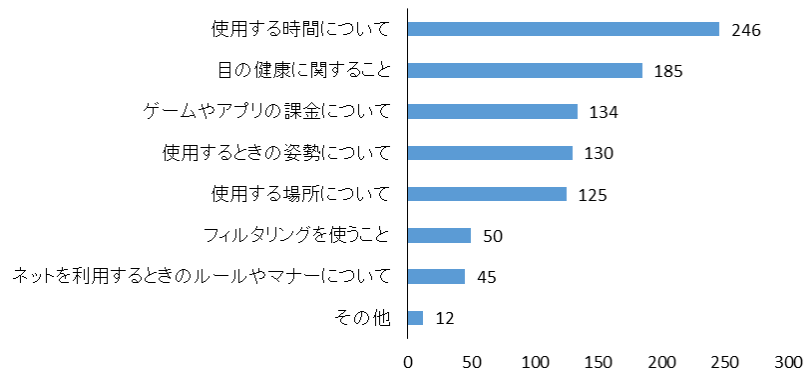
問題について話し合うも、しっかりと理解しているとはいえない現状。

家庭でメディア機器の使用についての決まりがありますか。



8割以上の家庭で決まりがある。決まりのある家庭が昨年より増加している。

### どんなきまりですか。(複数回答可)



「時間」について、多くの家庭で決められていた。

## アンケートのまとめ①

- 学年が上がるにしたがって、メディア機器の利用時間が増える傾向。  
→自分でメディア機器の使用時間をコントロールする力が必要。
- 携帯電話を使用する児童の半数以上がスマートフォン。  
→ブルーライトの健康への影響について意識する必要がある。
- タブレットやスマートフォン等、インターネットが気軽にできる環境である。  
→ネット依存やネットトラブルについて注意する必要がある。

## アンケートのまとめ②

- 1～10年内に児童に携帯電話を持たせる予定の家庭が多い。  
→携帯電話の適切な使い方や、インターネットの知識を今から知っておく必要がある。
- インターネット等の問題について、高学年を中心に家庭で話し合う機会がある。一方で、その危険性について児童の理解は不十分。  
→継続して、メディア機器の上手な使い方やインターネットの正しい知識を伝える必要がある。(家庭と学校の両方)
- ◎メディア機器利用の決まりを作っている家庭が多い。

## 今年度の取組みについて

- ①船穂小ノーメディアデー  
(テレビ・ゲームだけでなく、スマートフォンやタブレット等も含めた取組み)
- ②ネットモラルやメディア機器の健康への影響についての学級活動  
(学年に応じた内容でメディア機器との付き合い方やインターネットの正しい使い方を学べる機会とする。)
- ③PTA人権教育講演会の際、SNS・インターネット等の内容を取り入れる。



情報化社会の中で、自分のくらしや健康を守ることができる児童を育てる。